

Vol.86

Vol.86 (2021年春号)

PMI 日本支部 ニュースレター

Column/組織	3
Activities/支部活動	7
PM Calendar/PMカレンダー	17
Fact Database/データベース	19
Editor's Note/編集後記	23

Column / 組織

◆新任理事ご挨拶	3
PMI日本支部 理事 地域サービス、戦略運営担当 井奈波 誠	
PMI日本支部 理事 地域サービス、業務プロセス・業務改善担当 千葉 昌幸	
PMI日本支部 理事 ミッション、組織拡大、会員サービス担当 杉原 秀保	
PMI日本支部 理事 PMコミュニティ活性化、会員サービス基盤、Award担当 藤原 慎	
◆新任事務局長ご挨拶	6
PMI日本支部 事務局長 寺田 尚弘	

Activities / 支部活動

◆ステークホルダー調査2020 調査結果報告	7
PMI日本支部 副会長、組織拡大担当理事 齊藤 学	

PM Calendar / PMカレンダー

- PMI日本支部関連セミナー等

Fact Database / データベース

Editor's Note / 編集後記

◆商標等について

「PMI Project Management Institute」とそのロゴおよび「PMP」、「CAPM」、「PMBOK」、「OPM3」、「Quarter Globe Design」は、米国および他の国で登録されているプロジェクトマネジメント協会のマークであり商標です。プロジェクトマネジメント協会のマークの対象リストについては、プロジェクトマネジメント協会の法務部門へお問い合わせください。「ITIL® (IT Infrastructure Library)」は、英国及び欧州連合各国における英国政府 Cabinet Office の商標又は登録商標です。

Column / 組織

新任理事ご挨拶



地域サービス、戦略運営 担当

井奈波 誠 (いなば まこと)

JBCC株式会社
テクノロジー推進 品質管理 中部PMO

皆さま、初めまして。2020年10月より新理事を拝命しました井奈波誠と申します。

私は、岐阜県に在住し、仕事も中部地域で携わっています。現在所属している会社では品質管理部門に所属し、プロジェクトマネジメントの標準化推進、個別プロジェクトの品質レビューなどを担当しています。

PMI日本支部では、地域サービス委員会と中部ランチ運営委員会で活動してきました。地域サービス委員会が2009年に設立された当時より、中部地域の委員として参加しています。毎年実施している地域セミナーの企画、運営などを担当してきました。

中部ランチの活動も同じく2009年に始めました。中部

地域から地域サービス委員会に参加していた3名の委員からのスタートでした。当初は、口コミなどで集まったメンバーで勉強会を行い、コミュニティを形成してきました。2015年の中部ランチ創立にも尽力し、2020年に創立5周年を迎えることができました。その間、多くの方々に支援をいただき活動参加者も拡大しています。引き続き、この活動を継続し、さらに活発化していきたいと思っています。

2020年はCOVID-19の影響を受け、今までにないような環境の変化が生じました。その環境の変化は生活面、仕事面など多くの場面で見受けられ、New Normalといった概念も現れました。PMI日本支部の活動も、「地域に向けた情報発信」から、各地域のコミュニティ活動やプロジェクトマネジメントの実例などを「地域から発信」するよう変えていく必要があると感じています。

この度、理事として、地域サービス委員会・委員長、戦略運営委員会・委員、中部ランチ・代表を担うことになりました。これらの役割を通じ、引き続き各地域の活動、首都圏と地域間の活動連携など、少しでもお役に立つよう尽力したいと思います。どうぞよろしくご挨拶申し上げます。



地域サービス、業務プロセス・業務改善 担当

千葉 昌幸 (ちば まさゆき)

株式会社三菱総合研究所
公共DX本部 主席研究員

皆さま、はじめまして。新任理事の三菱総合研究所の千葉と申します。この度、前任の伊藤理事を引き継ぎ、地域サービス委員会、業務プロセス・業務改善チームを担当させていただきます。

これまでPMPは取得し更新しておりましたが、PMIの活動自体の参加は数回フォーラムに参加した程度であったため、今回の就任にあたりPMI、日本支部内の活動、組織運営を徐々

に学ばせていただいているところです。

私自身の職歴ですが、公共分野を中心に情報システム全般に関わってきました。システムの調査、基本構想策定から、設計、開発、運用、次システムの計画に至るまで、一通りの領域を経験できたかな、と思っております。

特に、ここ15年間程は、省庁の大規模情報システムの工程管理支援案件に携わっております。この仕事は顧客が所管する情報システム構築のプロジェクト管理を第三者として担うものです。相当数のステークホルダーとのスケジュールを日々、睨みながら課題・リスクを潰していくという、外の組織のプロジェクト管理を仕事とするものです。なかなか理論通りにはいかないもどかしさはしょっちゅうですが、大人数の関係者と一丸となって進め、更改の瞬間に立ち会えたときは嬉しいものです。

さて、ご承知のとおり、私たちの生活スタイルはこのコロナ禍で大きく変わることが余儀なくされてしまいました。私も現時点（2021年2月）で出社は週1回以下、社内にいるときでも会議は基本リモートです。

PMI日本支部における活動も10月の着任以来、実際に他の理事の方や研究会メンバーの方にも対面ではお会いできません。リモート会議は互いの表情や場の雰囲気を感じ取るという点で対面には叶いませんが、一方でこれまで遠方や多

忙のため参加を諦めていた方への機会拡大やリアルタイムでの資料提供など、メリットも多く感じております。一時的ではなく、今後はこうした遠隔を前提として組織を運用するスタイルが定着していくのでしょうか。ファシリテートは大変ですが、支援するツール、機能も今後、続々現れることでしょう。新たな基盤、運営スタイルに慣れ、PMI日本支部の今後の発展に少しでも寄与できたらと考えております。よろしくお願いたします。



ミッション、組織拡大、
会員サービス担当

杉原 秀保 (すぎはら ひでやす)

ニッセイ情報テクノロジー株式会社
年金ソリューション事業部
主席スペシャリスト

2021年1月からPMI日本支部の理事を拝命いたしました杉原秀保です。本業は生保系IT企業に所属しており、現在は厚生労働省関連のシステム支援コンサル業務に従事しています。

私とPMIとの出会いは、2005年にPMPとIPAのプロジェクト・マネジャー資格を取得し、より実践的なノウハウを身に付けるためにPMI日本支部の研究会に参加したのがきっかけです。それから15年間IT、医療、プラント、建設等さまざまな業界で活躍されているプロフェッショナルからプロジェクトマネジメントの実践的な知見を学ばせていただきました。

また、2017年からは関西 brunch の運営委員長として、

約80名程のコミュニティ活動における運営計画やイベントの企画&推進、PMI日本支部事務局との窓口など幅広い経験をさせていただく中で、自分も成長してこられたことに感謝しています。

今年度、私は理事として、ミッション委員会、組織拡大委員会、会員サービス委員会（基盤、Forum/Festa/セミナー）を担当いたします。

ミッション委員会では会員サービスの充実や若手新規会員の獲得に向けた企画を検討しており、組織拡大委員会では年に数回開かれる入会オリエンテーションなどに参画しています。また、会員サービス委員会では、PMI日本支部最大のイベントであるPMI日本フォーラムの企画運営やPMI日本支部の公式Webページの改訂等に携わらせていただいておりますが、いずれもPMI日本支部の提供価値を左右する重要ミッションですので、やりがいを感じています。

今後は自分を育ててくれたPMI日本支部に少しでも恩返しができるよう理事として活動し、PM関連の有益な情報を皆さまにお届けできるよう務めて参りますので、どうぞよろしくお願致します。



PMコミュニティ活性化、
会員サービス基盤、Award担当

藤原 慎 (ふじわら まこと)

株式会社NTTデータユニバーシティ
代表取締役社長

この度、理事を拝命しました藤原慎と申します。

私は、NTTデータ、NTTデータ先端技術、NTT東日本で、R&D、機器制御ソフトウェア開発からサービス設計・開発・運用、営業・コンサルティング、サービス開発マネジメント、組織運営、技術統括等を担当して参りまして、2020年度からはさまざまな業種業態の企業様向け人材育成・組織強化のためのコンサルティングサービス、研修・教育サービス等を提供しているNTTデータユニバーシティでの経営に携わっています。

これまで私自身はオープンソースやサイバーセキュリティに関する団体・コミュニティ活動や、企業内でのPM育成に関わってきたことはありますが、PMIやPMI日本支部での活動についてはこの度初めて参加させていただくことになります。まだ活動を始めたばかりですけれども、会員の皆さまや事務局の方々がとても活発に活動されていると感じており、これからさまざまな取組みに参加させていただき、多数の方とお話しをしていくことを通じて日本支部の活動のステップアップに寄与させていただけるようにしていきたいと思っています。

PMI日本支部で今後担当させていただくことは、PMコミュニティ活性化、会員サービス基盤（システム）、Awardとなっています。

ところで、会員の方には、人材育成・組織強化等に自社内外で関わっておられる方が多いのではないかと思います。私が所属しております会社も社外向けのサービス提供が主ですので、さまざまな業界の方々とお話しをする機会があります。今は昨年来続いているNew Normalへの模索、デジタルシフトの加速、ビジネスモデルの再検討にすでに積極的に取り組まれている方々がおられる一方で、DXを含めてどう活動して良いか分からない・難しいというご相談もやはりまだまだ多く頂戴します。さまざまな取組みがどのように行われているのか、どのような工夫があるのかを学ぶことは大切だと思っていますので、その学びに貢献していけるようにしたいと考えています。

どうぞよろしく願いいたします。

新任事務局長ご挨拶



PMI日本支部 事務局長
寺田 尚弘

2021年1月1日付で事務局長に就任しました寺田尚弘です。自己紹介も兼ねて新任のご挨拶をさせていただきます。

建設会社の情報システム部門で約38年間勤務し、PM、組織マネジャーとして、多くのシステム開発や業務改革のプロジェクトに携わり、経験を積んできました。この間、社内標準や自身の経験、価値観を元に業務に携わってきましたが、今回、縁あってプロジェクトマネジメントを推進・標榜する日本の代表組織で働くことになったことから、プロジェクトマネジメントと真摯に向き合うべく新たにPMP®資格を取得し、日々勉強している最中です。

ICT分野に限らずどの分野のプロジェクトも同じですが、PMはプロジェクトの成功に向け、昼夜奮闘しながら新しい技術の研鑽にも励んでいます。その中でかなりのプレッシャーとストレスを感じていると思いますが、皆さんはどのようにストレスと向き合い、発散されているのでしょうか？

旅行、スポーツ、音楽、ダンス、ゲーム、食べること・寝ること等とストレスの発散方法は人それぞれですが、自己紹介も兼ねて、私のストレス発散法をご紹介します。

私の場合は、スポーツで思い切り身体を動かしています。義務教育の頃から高校・大学時代、そして現在に至るまでに、野球、剣道、水泳、バドミントン、テニス、スキー、サーフィン、スポーツサイクル、トライアスロンなど数多くのスポーツを経験してきました。中でもスキーは40年以上、ロードバイクとマウンテンバイクは20年以上続けており、今でも週末ともなれば自転車で激走するか、スキーでかっ飛ばすという生活を送っています。

PMには知力・体力・気力が求められますが、私の場合は、知力はさておき、スポーツでストレスを発散すると同時に体力・気力を鍛えているというわけです。

人生のセカンドステージであるこれからの10年、20年、プロジェクトマネジメントの世界で充実した活動を送るための原動力とすべく、これからも継続していくつもりです。

この1年間、コロナ禍により社会生活、経済活動が大きく変わらざるを得ない状況の下、PMI日本支部も「ニューノーマル」に対応し、さまざまなイベントやセミナーをオンライン化、リモート化してきました。この状況は今しばらく続きそうですが、理事、事務局員、ボランティアの皆さんが一つになって創意工夫を重ね、自らの価値をより高めていきたいものです。

事務局長という立場で、支部会員の方々に限らず、日本中のプロジェクトに携わる多くのPMのために少しでもお役に立てればと思っておりますので、今後ともPMI日本支部の活動にご理解とご支援をいただければ幸いです。



先頭でゴールする
直前の本人

日本サイクルレーシングクラブ協会 (JCRC) の群馬大会にて



パウダースノーの中を滑走

Activities / 支部活動

ステークホルダー調査2020 調査結果報告

PMI日本支部 副会長、組織拡大担当理事 齊藤 学

PMI日本支部では、組織拡大委員会が主管となり、プロジェクトマネジメントに関する認知と理解、そして日本支部に対する期待やニーズの把握を目的とする「ステークホルダー調査」をPMI本部の協力の下で実施しました。本調査は主要な戦略委員会との横断プロジェクトとして、調査方針の検討から調査実施、結果とりまとめまで約半年間の取り組みとなりました。

以下、その結果をご報告します。

- 調査概要
- 調査の背景と目的
- 調査結果全体サマリ
- 調査結果：PMP資格保有者
- 調査結果：重点ターゲット層（非PMP資格保有者）
- 調査結果の活用について

◆ 調査概要

- プロジェクト期間：2020年4月30日～11月30日
- 調査方針検討：～2020年7月30日
（協力パートナー：スカイライトコンサルティング株式会社）
- 調査実施：～2020年11月30日（協力パートナー：株式会社日経リサーチ）
実際のアンケート依頼・回答は2020年10月

【表1】調査概要

項目	内容
調査対象者	①PMP資格保有者（PMIよりリストを提供） ②IT関連企業に勤務する社員 ③キャリアアップ志向のある個人 ④就活生
調査目的	PMI日本支部の戦略的ターゲット層に対して、プロジェクト・マネジメントや、貴社団に対する理解度やニーズを把握。既存会員のコミュニティへの取り込みやリテンション率の向上とともに、幅広い年代、業種、業態の潜在層に対し、PMI日本支部の理解度向上や、PMP取得・日本支部会員登録促進に向けた、マーケティング&エンゲージメント計画の立案につなげる。
調査方法	インターネット調査
回収数	①1,260s、②214s、③265s、④210s、合計：1,949s

◆ 調査の背景と目的

1. 調査の背景

PMIではPMを「アイデアを現実化するスキル」＝「ライフスキル」と再定義し、その適用領域の拡張を図っており、特に「ネクスト・ジェネレーション」（5～35歳）へのアプローチを強化しています。また、ネクスト・ジェネレーション020-2021年）においても「ネクスト・ジェネレーション」としての若手社員や学生の巻き込みを重点課題として掲げています。

Activities / 支部活動

■ステークホルダー調査2020 調査結果報告

【中期計画取り組み方針】

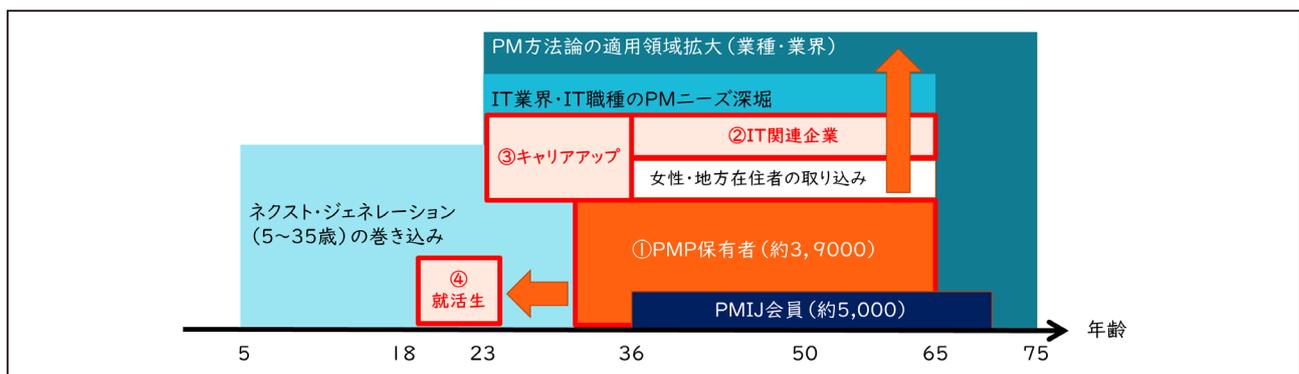
- ①すべての世代の「個人のライフステージ」に応じた価値の実現を訴求する。
- ②支部から個人へ、個人から組織・社会へと、「プロジェクトマネジメントの有用性」の伝搬が、サイクルとして好循環するよう取り組む。

2. 調査の目的

PMI日本支部が考える戦略的ターゲット層でのPMに対する理解度やニーズの把握と、コミュニティへの巻き込み（会員獲得）を検討し、広い年代、業種・業態に対する活動拡大に向けたマーケティング・エンゲージメント計画立案のインプットとすることを目的としています。

また、今回の調査ではIT業界・IT職種のPMニーズの深堀とネクスト・ジェネレーション（5～35歳）の巻き込み施策の鍵となる下図の①～④のセグメントに対する意識調査を実施しました。

【図1】 PMI日本支部が考える戦略的ターゲット層（ステークホルダーセグメンテーション）

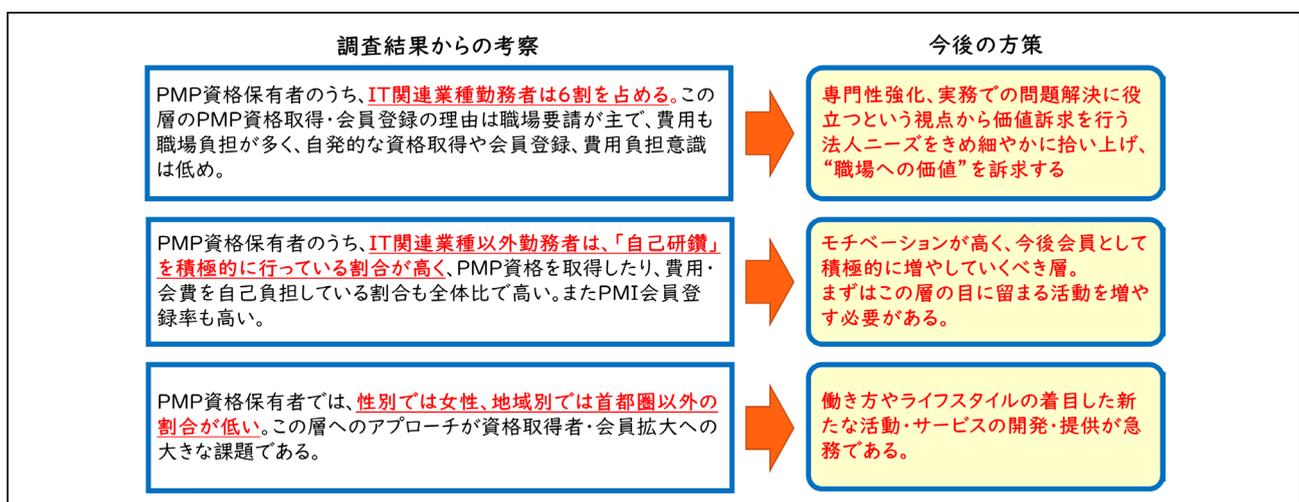


◆ 調査結果全体サマリ

調査結果を踏まえた戦略ターゲット層毎の特徴と支部としての今後の方策は以下の通りです。

1. PMP 資格保有者の実態と今後の方策

【図2】 PMP 資格保有者の実態と今後の方策

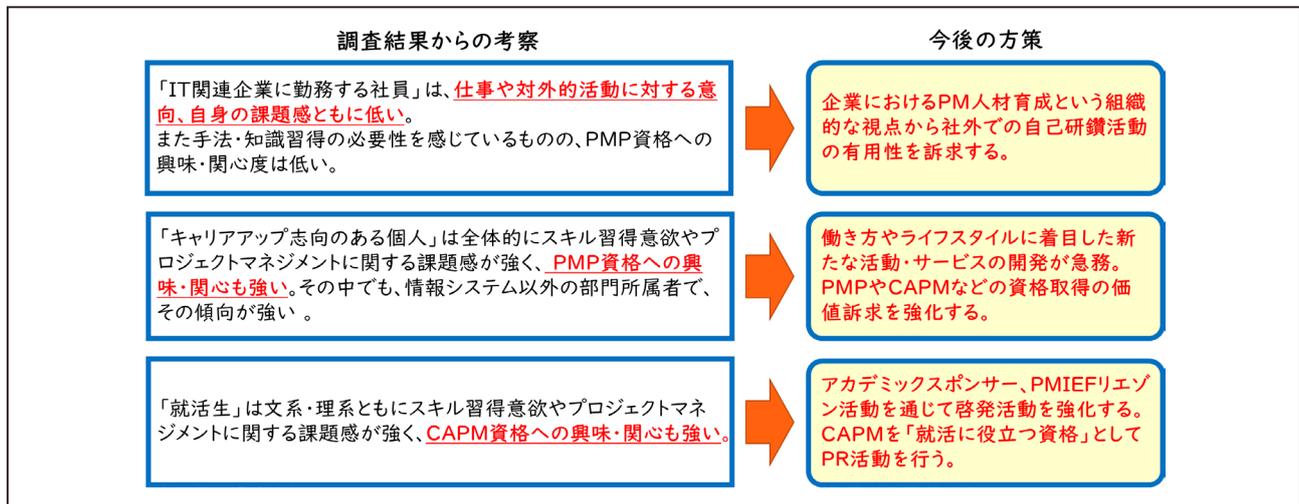


Activities / 支部活動

■ステークホルダー調査2020 調査結果報告

2. 重点ターゲット（非PMP資格保有者）層の実態と今後の方策

【図3】重点ターゲット（非PMP資格保有者）層の実態と今後の方策

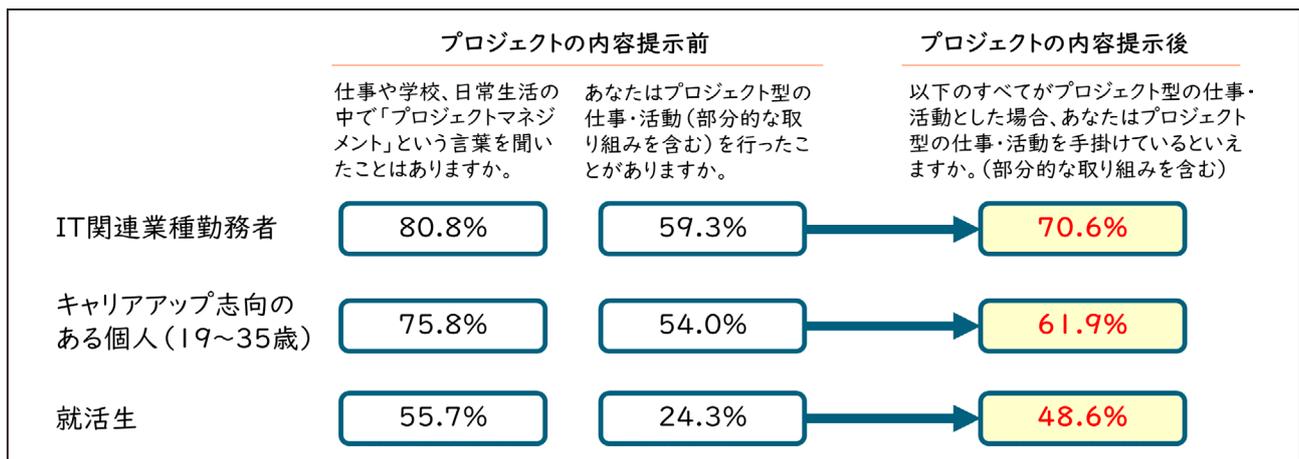


3. PMに対する理解を高めるための工夫（非PMP資格保有者向け）

非PMP取得者では社会人・学生問わず、身の回りや自身の仕事・活動が「プロジェクト」であることを認知していない場合が多いと思われます。

今回の調査では用語としての「プロジェクト」、「プロジェクトマネジメント」の認知度を先に問い、後の質問で具体的な例示とともに再度類似質問を行くことにより、左記用語の要素を意識づける工夫を行いました。

【図4】PMに対する理解を高めるための工夫（非PMP資格保有者向け）



◆調査結果：PMP資格保有者

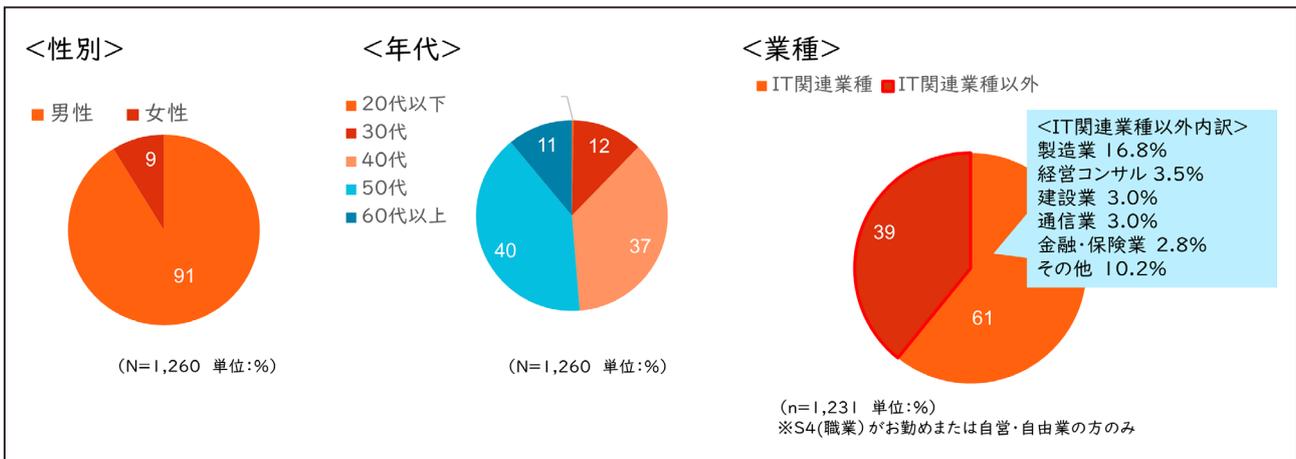
1. 回答者プロフィール

- PMP資格保有者は、男性が約9割、年代では40代以上が9割近くを占める。
- PMP資格保有者の業種はIT関連が6割程度を占める。

Activities / 支部活動

■ステークホルダー調査2020 調査結果報告

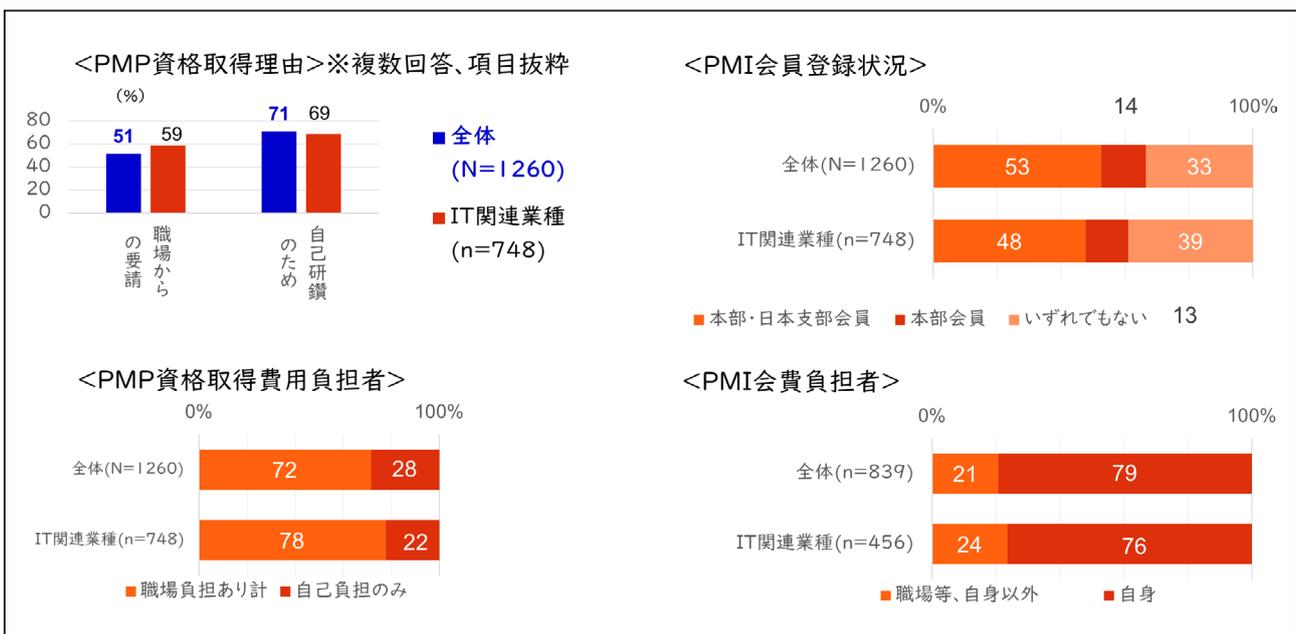
【図5】回答者プロフィール (PMP資格保有者)



2. IT関連業務勤務者の特徴

- PMP資格取得理由では「職場からの要請」の割合が全体と比べ高い
- PMI会員登録率は、会費が職場負担の割合が高いにも関わらず、全体と比べ低い。

【図6】IT関連業種勤務者の特徴 (PMP資格保有者)



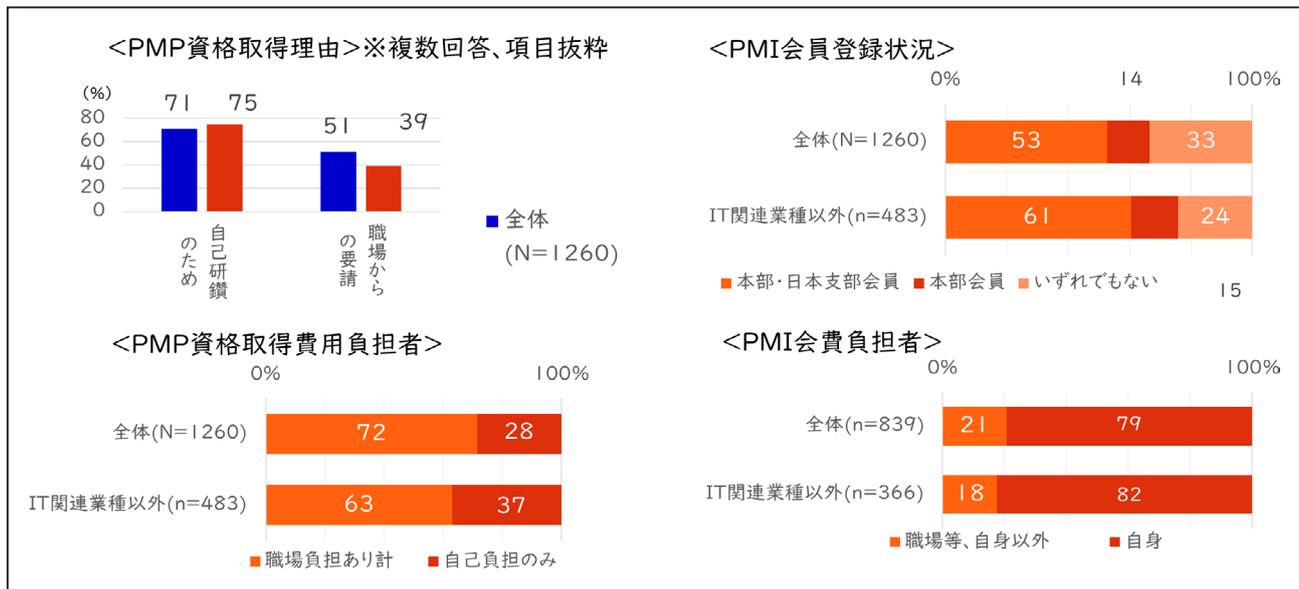
3. IT関連業務以外の勤務者の特徴

- PMP資格取得理由は全体と比べ「自己研鑽のため」がやや高く、「職場からの要請」は低い。
- また、資格取得登録費用・会費負担は全体と比べ「自己負担」の割合が高い。
- PMI会員登録率は、会費が自己負担の割合が高めであるにも関わらず、全体と比べ高い。

Activities / 支部活動

■ステークホルダー調査2020 調査結果報告

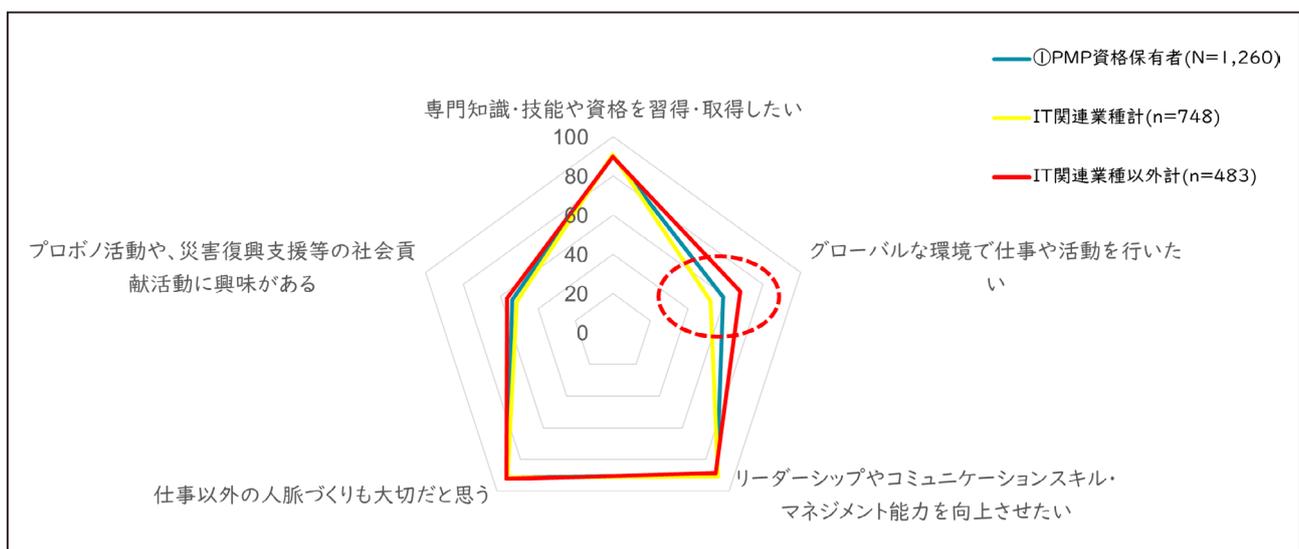
【図7】 IT関連業種以外の勤務者の特徴（PMP資格保有者）



4. 仕事や対外的活動に対する考え方

- PMP資格取得理由では「職場からの要請」の割合が全体と比べ高い

【図8】 仕事や対外的活動に対する考え方（「そう思う」+「ややそう思う」合計 (%)）



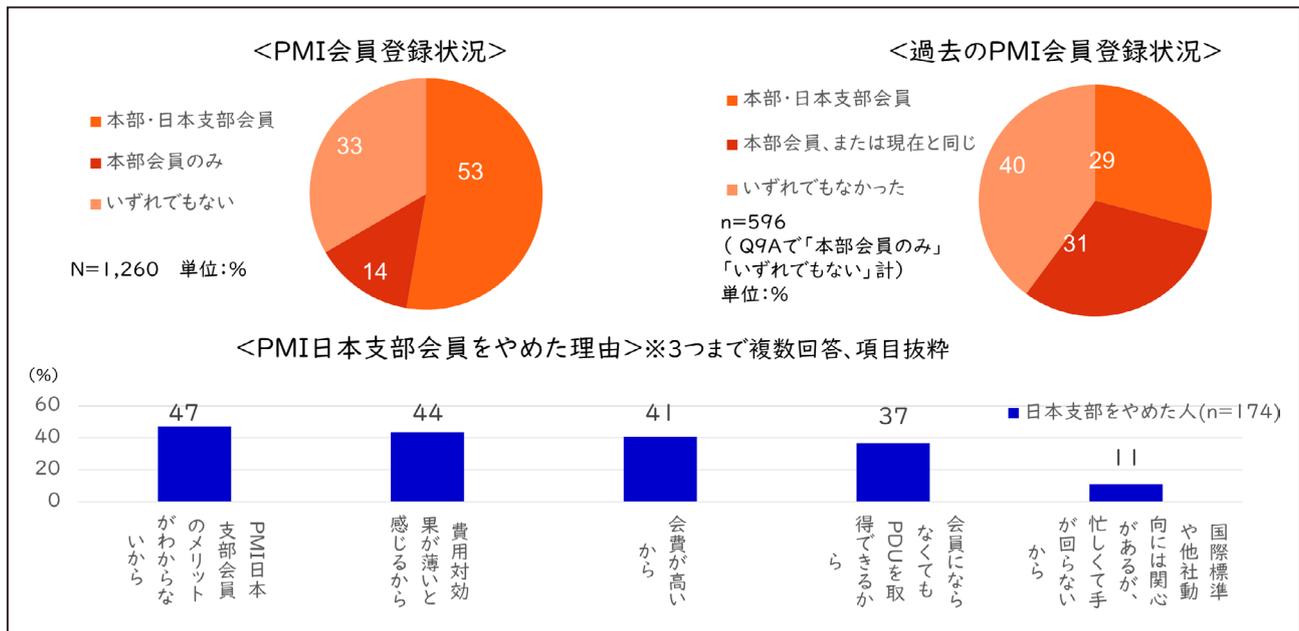
5. PMP資格保有者の実態と会員登録促進に向けて

- PMP資格保有者の現在のPMI会員登録状況を見ると、非会員は3割、本部会員だが日本支部会員ではない人も1割程度みられる。
- 現在日本支部会員でない人のうち、過去に日本支部会員だった（日本支部会員をやめた）のは約3割。やめた理由は「日本支部のメリットがわからない」、「費用対効果が薄いと感じる」など。

Activities / 支部活動

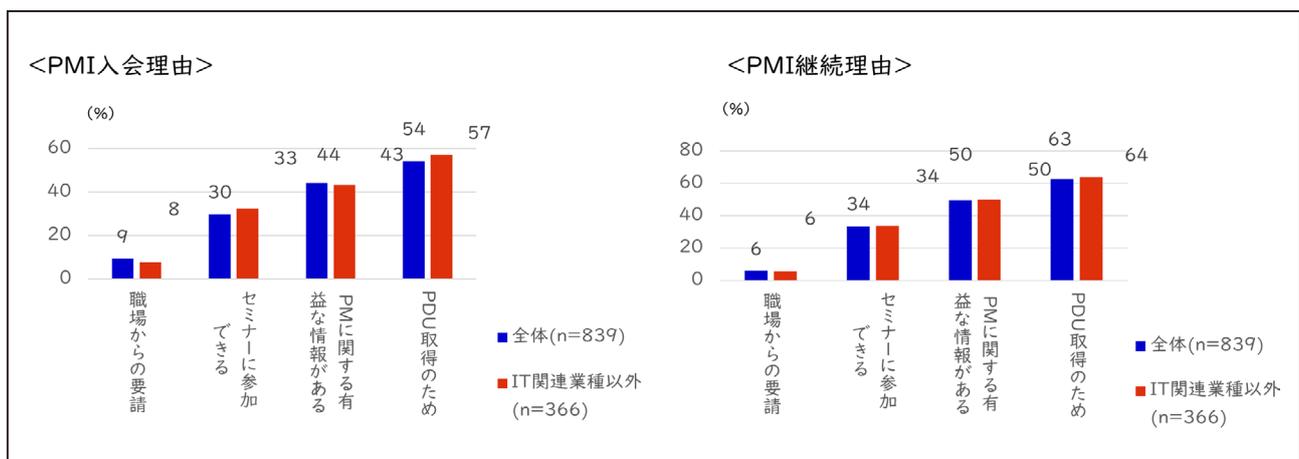
■ステークホルダー調査2020 調査結果報告

【図9】 PMI会員登録状況



- PMP資格保有者のうち、IT関連業種勤務者は6割を占めるが、自発的な資格取得や会員登録、費用負担意識は低め。
⇒ 職場を通じての資格・保有や会員登録は見込めるが、モチベーションは低い。
- IT関連業種以外勤務者は、費用を自己負担して自発的に資格を取得したりする割合が高く、モチベーションが高いうえに、自発的で行動力もある。
⇒ 今後会員としてぜひ増やしていくべき層であるが、費用を自己負担している割合も高いため、費用対効果を訴求できる施策をうっていくことが重要。

【図10】 PMI入会・継続理由



◆調査結果：重点ターゲット層（非PMP資格保有者）

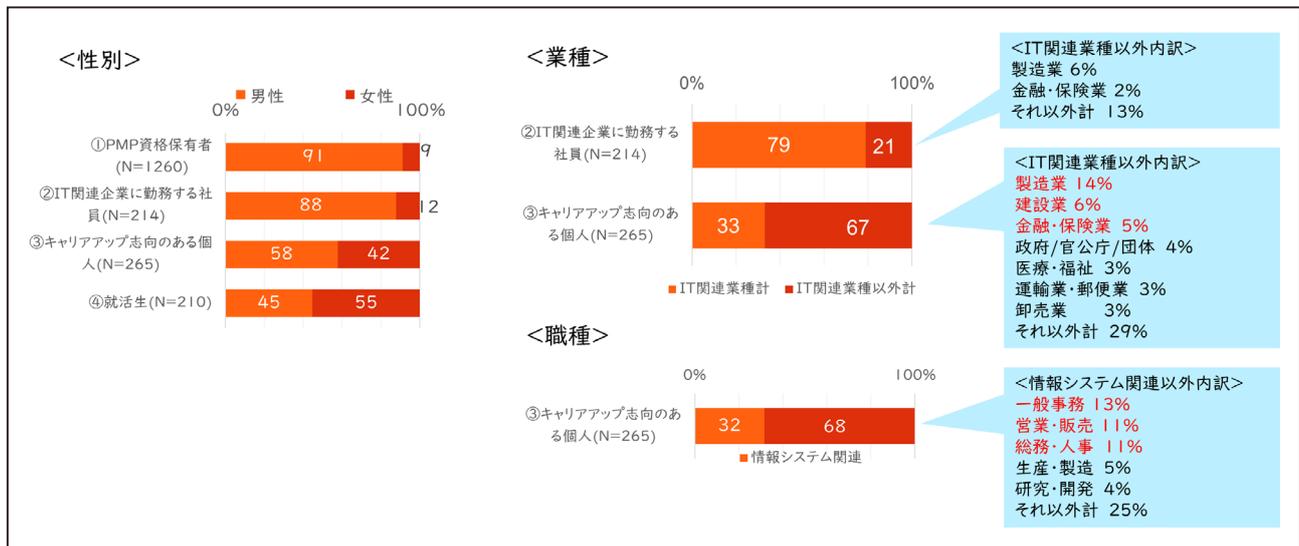
1. 回答者プロフィール

- キャリアアップ志向のある個人、就活生では全体に比べ女性の割合が高い。
- また、重点のターゲット層では、PMP資格保有者と比べて首都圏以外の割合が高い。

Activities / 支部活動

■ステークホルダー調査2020 調査結果報告

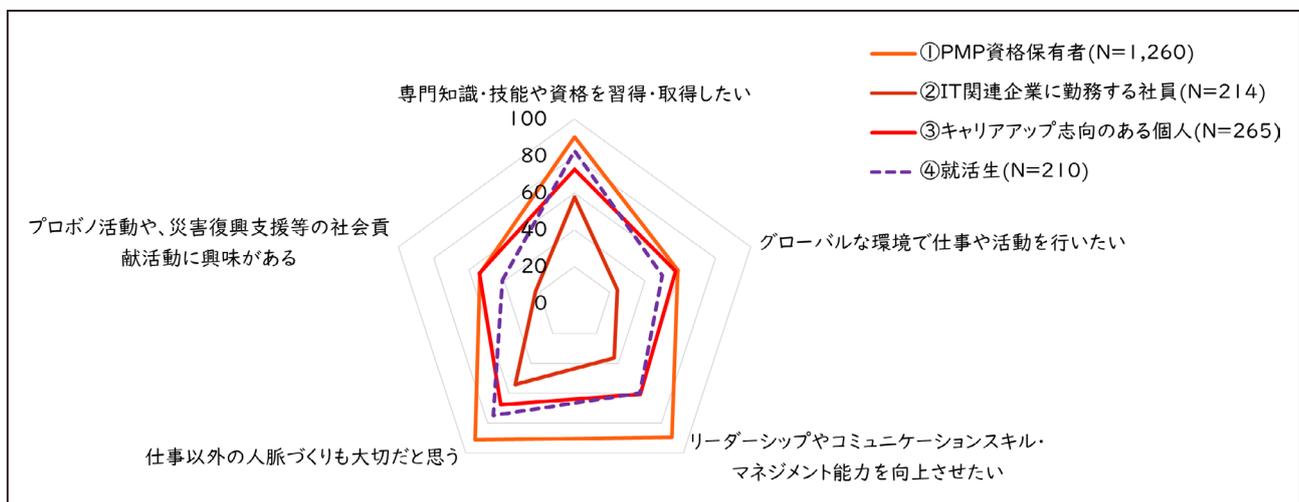
【図11】回答者プロフィール（重点ターゲット層）



2. 仕事や対外的活動に対する考え方

- 仕事や対外的活動に関する考え方をみるとキャリアアップ志向のある個人と就活生はIT関連企業に勤務する社員、PMP資格保有者に次いで、スキル向上意欲や意識が高い。
- 一方でIT関連企業に勤務する社員は全ての項目で他の層のスコアを下回り、仕事や対外的活動に対する意向は低い。

【図12】仕事や対外的活動に対する考え方（「そう思う」＋「ややそう思う」合計 (%)）



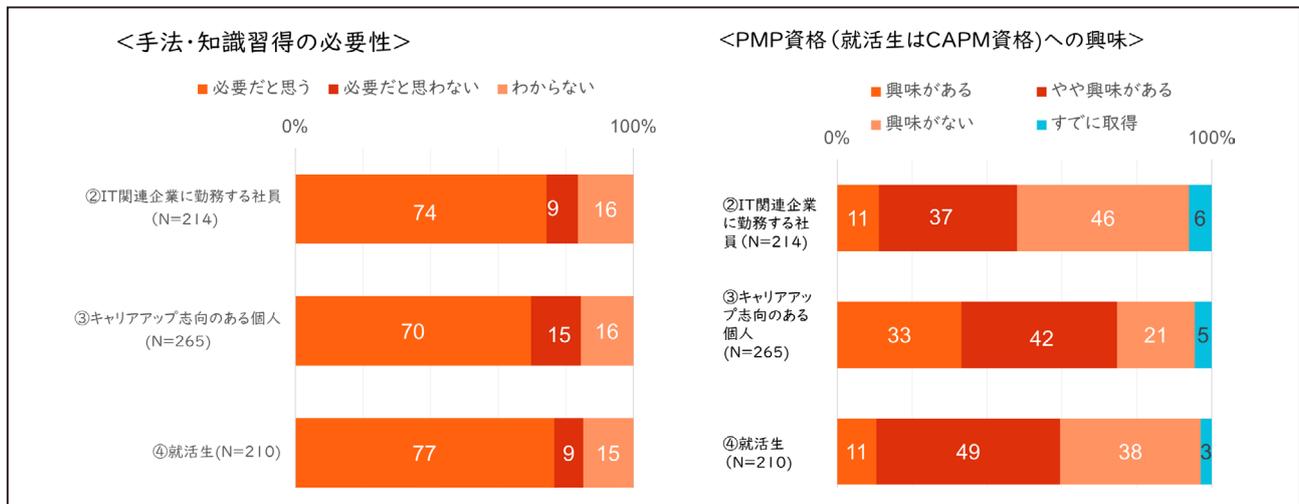
3. スキル習得の必要性和PMI資格への興味・関心

- どの重点ターゲット層ともに7割以上がプロジェクトマネジメントに関する手法・知識習得の必要性を感じている。
- IT関連企業に勤務する社員と就活生では4割前後がPMP資格への興味がないと回答しており、資格取得の必要性和PMP資格への興味・関心との間にギャップがみられる。

Activities / 支部活動

■ステークホルダー調査2020 調査結果報告

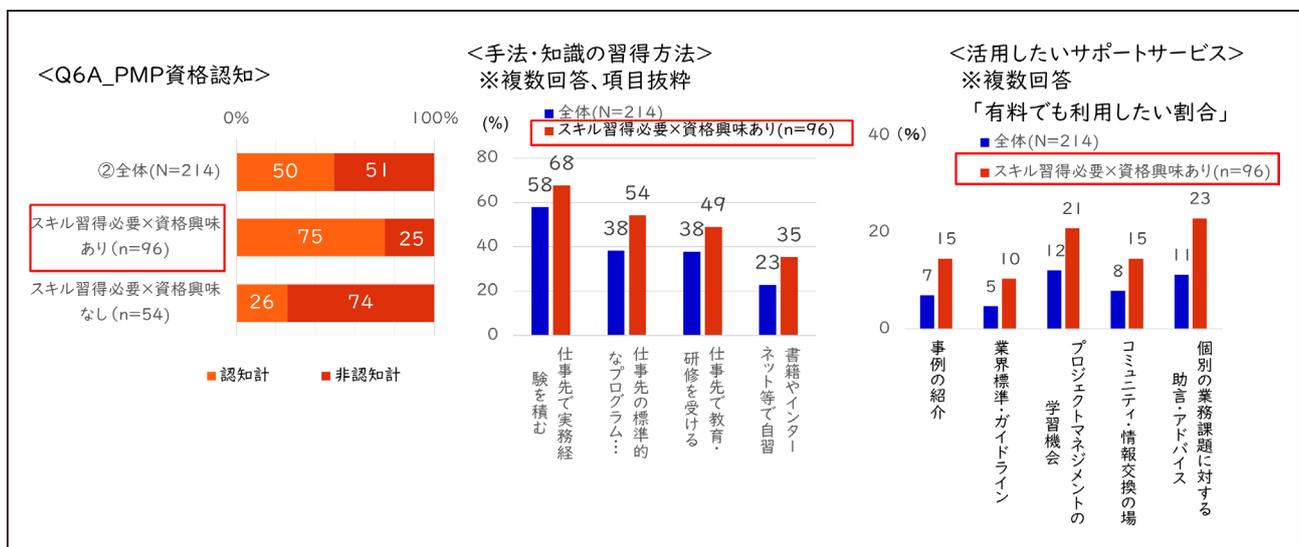
【図13】スキル習得の必要性とPMI資格への興味関心（重点ターゲット層）



4. IT関連企業に勤務する社員（非PMP・36歳以上）

- 「スキル習得の必要性は感じているが、PMP資格に興味はない」層はPMP資格の認知が3割以下にとどまる。
- スケジュールやコスト・品質管理等、システム設計以外の業務従事者に、PM系のスキルや資格の取得ニーズが高い。
- この層は、手法・知識の習得方法として仕事先でのOJT等の機会も多いが、自習も一定数みられる。また各種サポートサービスに対しても幅広くニーズがみられる。

【図14】IT関連企業に勤務する社員（非PMP・36歳以上）の動向



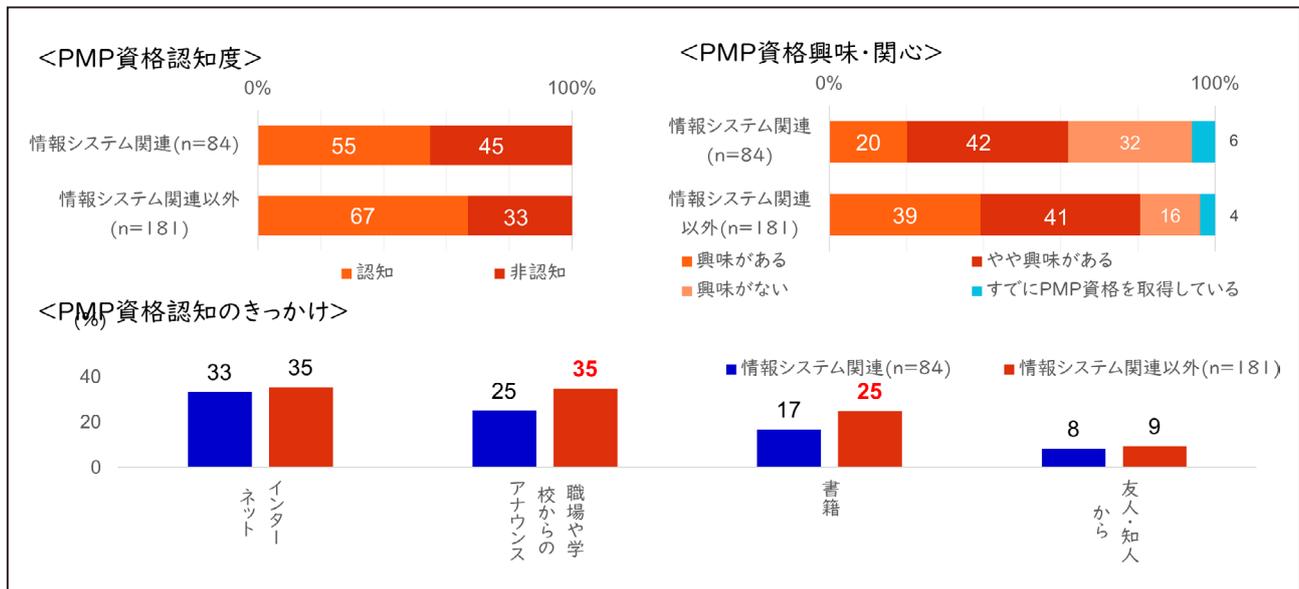
5. キャリアアップ志向のある個人（23～35歳）

- PMP資格認知度は、情報システム関連部門所属者が5割半ば、情報システム関連部門以外が6割半ば。認知経路を比較すると、「インターネット」は同程度だが、情報システム関連部門以外で「職場や学校からのアナウンス」や「書籍」の割合が高い。
- PMP資格への興味・関心は、「興味がある」、「やや興味がある」の合計で、情報システム関連部門所属者が6割強、情報システム関連部門以外が8割強。情報システム関連部門以外で「興味がある」との強い興味・関心の割合が約4割と高い。

Activities / 支部活動

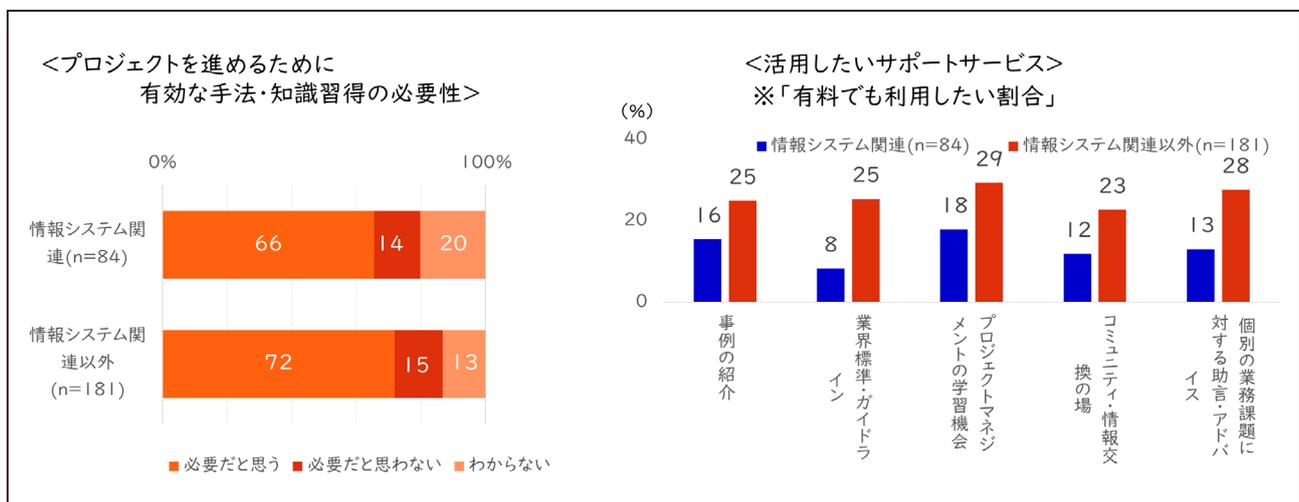
■ステークホルダー調査2020 調査結果報告

【図15】キャリアアップ志向のある個人（23～35歳）の動向①



- 意識やモチベーションが高く、PMP資格への興味・関心も高い。特に、情報システム以外の部門所属者で、その傾向が強い。
- 情報システム以外の部門所属者は、手法・知識の習得の必要性も高く、またサポートサービスに対し「有料でも利用したい」割合も高い。

【図16】キャリアアップ志向のある個人（23～35歳）の動向②



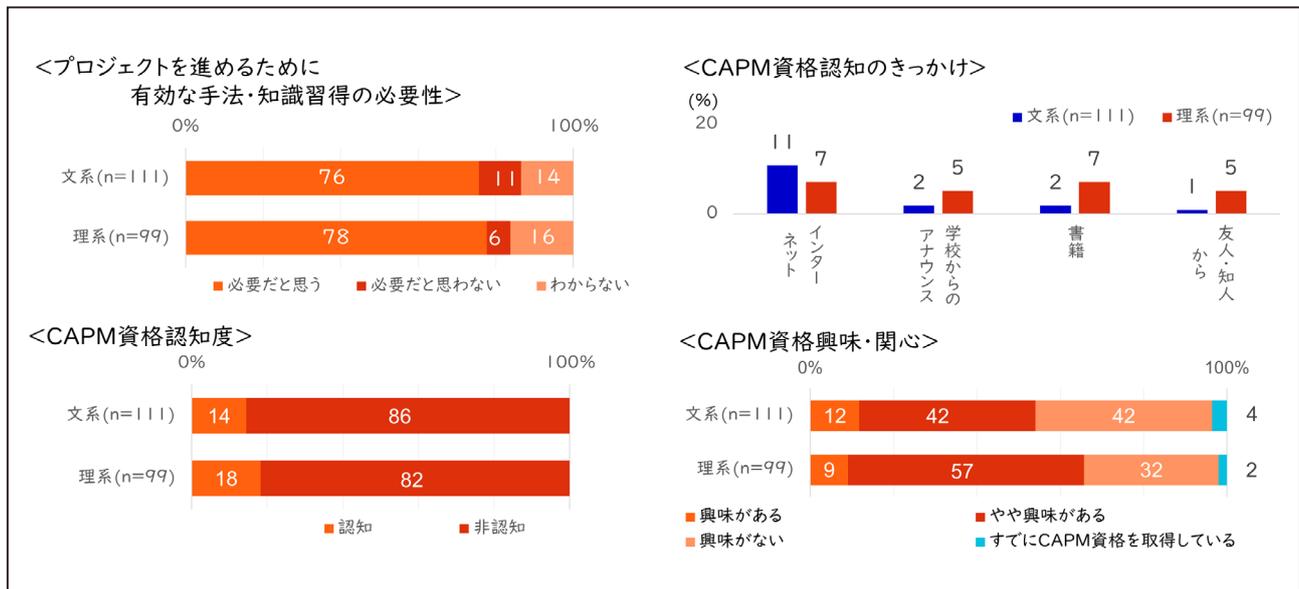
6. 就活生

- 就活生は、文系・理系ともに意識やモチベーションスキルが高く、スキル取得意欲も8割近くと高い。ただし、CAPM資格の認知度は1割台にとどまっており、まずは認知度向上が必要。
- CAPM資格への興味・関心は、「興味がある」、「やや興味がある」の合計で、文系で5割半ば、理系で6割半ばである。

Activities / 支部活動

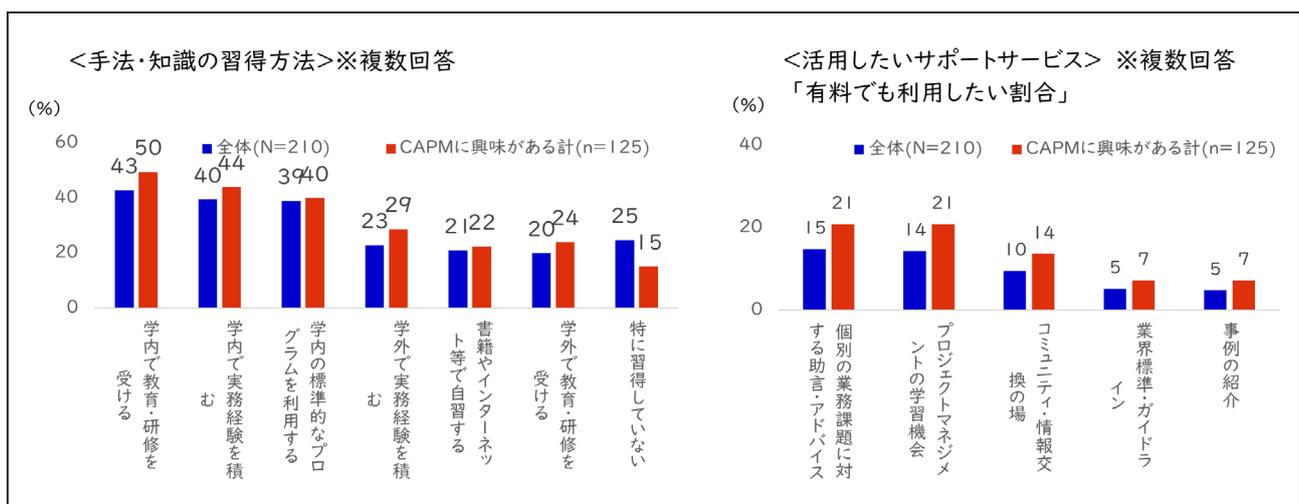
■ステークホルダー調査2020 調査結果報告

【図17】就活生の動向①



- CAPMへの興味・関心は理系の方が高いが、文系からも一定の興味・関心を持たれている。この層は、学内・学外ともに「教育・研修」や「実務経験を積む」ことで、既に手法・知識を習得しようとする割合が高い。また、「有料でも活用したいサポートサービス」としては、「プロジェクトマネジメントの学習機会」や「個別の業務課題に対する助言・アドバイス」のニーズもみられる。
- CAPMに興味・関心がある層は、意識の高さだけでなく、実際に手法・知識の習得や、実践に関わる割合も高い層である。

【図18】就活生の動向②



◆調査結果の活用について

今回の調査結果を踏まえ、PMI日本支部の中期計画（2020-2022）の見直しを実施しました。同時に関連する戦略委員会における中期計画の見直しと年次活動計画への反映を行っています。

今後は本調査の結果を踏まえ、ネクスト・ジェネレーション層のニーズ深堀調査や非IT業界における潜在ニーズ調査などの実施も検討中です。

PM Calendar / PMカレンダー

PMI日本支部のイベントならびにPM教育関連セミナーなどの案内です。

今般の新型コロナウイルス拡大防止の観点から、多くのセミナーは中止となっています。現在、リモート環境でのセミナー実施について鋭意検討中です。

詳しくは、PMI日本支部のWebサイトをご参照ください。

【ホームページにて公開中・準備中】

■ PMI日本支部関連セミナー / ワークショップ

● 『ポートフォリオマネジメント標準』第4版 日本語版 出版記念セミナー

- 日時：4月10日(土) 13:00～15:00
- 形式：リモート開催
- 2PDU、ITC実践力ポイント2時間分

● ディシプリンド・アジャイル基礎

- 日時：4月14日(水) 9:00～18:45
- 形式：リモート開催
- 7PDU、ITC実践力ポイント7時間分

● デザイン思考基礎

～優れた顧客経験(CX)を提供する～

- 日時：4月20日(火) 9:00～18:45
- 形式：リモート開催
- 7PDU、ITC実践力ポイント7時間分

● アジャイル実践 ～知識から実践へ～

- 日時：5月11日(火) 9:30～18:30
- 形式：リモート開催
- 7PDU、ITC実践力ポイント7時間分

● 5月度月例セミナー

- 日時：5月15日(土) 13:00～15:00
- 形式：リモート開催
- 2PDU、ITC実践力ポイント2時間分

● アジャイルプロジェクトマネジメント基礎

- 日時：4月13日(火) 9:30～18:30
- 形式：リモート開催
- 7PDU、ITC実践力ポイント7時間分

● 4月度月例セミナー

- 日時：4月16日(金) 19:00～21:00
- 形式：リモート開催
- 2PDU、ITC実践力ポイント2時間分

● 関西ブランチ主催 ショートケースで学ぶPM実践ワークショップ2021

- 日時：4月21日(土) 13:30～16:30
- 形式：リモート開催
- 2.75PDU、ITC実践力ポイント2.75時間分

● ディシプリンド・アジャイル基礎

- 日時：5月12日(水) 9:00～18:45
- 形式：リモート開催
- 7PDU、ITC実践力ポイント7時間分

● デザイン思考実践(2日間)

～顧客経験(CX)からの革新商品&サービス開発～

- 日時：5月25日・26日 9:00～18:45
- 形式：リモート開催
- 14PDU、ITC実践力ポイント14時間分

PM Calendar / PMカレンダー

● ディシプリンド・アジャイル基礎

- 日時：6月9日(水) 9:00～18:45
- 形式：リモート開催
- 7PDU、ITC実践力ポイント7時間分

● 6月度月例セミナー

- 日時：6月18日(金) 19:00～21:00
- 形式：リモート開催
- 2PDU、ITC実践力ポイント2時間分

● アジャイルプロジェクトマネジメント基礎

- 日時：6月22日(火) 9:30～18:30
- 形式：リモート開催
- 7PDU、ITC実践力ポイント7時間分

■ PMI日本支部関連イベント

● PMI日本フォーラム 2021

- リモート開催
- 日時：2021年7月10日(土)～31日(土)
 - 基調・招待講演のリアルタイム配信 : 2021年7月10日(土)、11日(日)
 - 部会・スポンサー講演のオンデマンド配信 : 2021年7月10日(土)～31日(土)
 - 基調・招待講演のオンデマンド配信 : 2021年7月12日(月)～31日(土)

【月例セミナー開催について】 2021年度の月例セミナーは、下記の日程で行います。

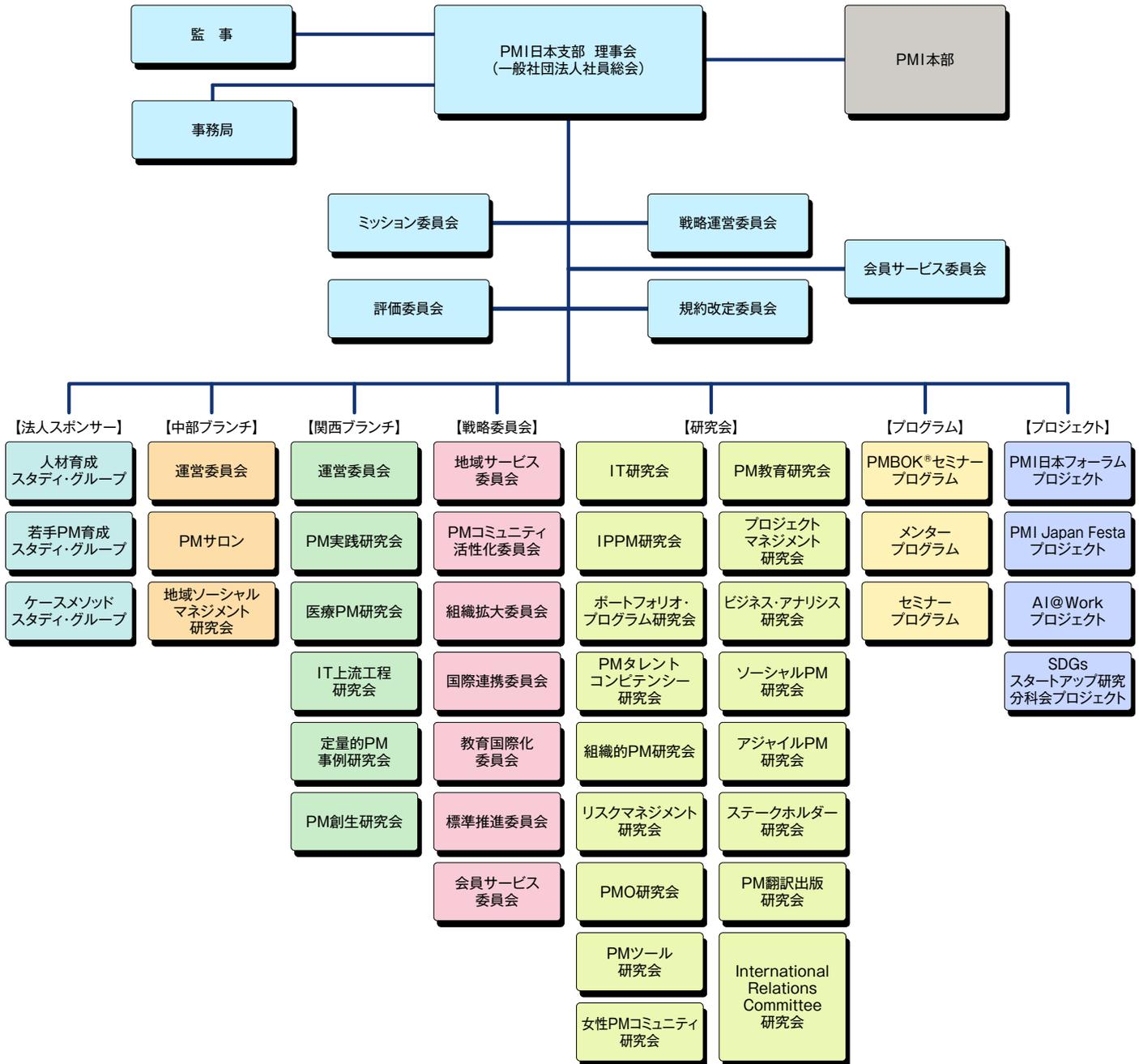
【日程(予定)】	(2021年1月23日(土) 新春特別セミナー)
① 2021年2月19日(金)	⑤ 2021年6月18日(金) リモート
② 2021年3月21日(日)	⑥ 2021年8月
③ 2021年4月16日(金)	⑦ 2021年9月
④ 2021年5月15日(土) リモート	⑧ 2021年12月

*なお、イベント、セミナー、コースなどは、諸般の事情により変更または中止される場合があります。
PMI日本支部ホームページで確認をお願いいたします。(https://www.pmi-japan.org/event/)

Fact Database / データベース

PMI日本支部やPMP®資格取得者に関する最新情報をお届けします。

■ 支部活動 (2021年3月現在)



Fact Database/データベース

■理事一覧 (2021年3月現在)

会長	片江有利	株式会社システムコストマネジメント
副会長	麻生重樹	日本電気株式会社
副会長	浦田有佳里	TIS株式会社
副会長	奥澤薫	KOLABO
副会長	斉藤学	スカイライト コンサルティング株式会社
副会長	端山毅	株式会社NTTデータ
副会長	森田公至	日本アイ・ビー・エム株式会社

(以下、五十音順)

理事	井奈波誠	JBCC株式会社
理事	井上雅裕	芝浦工業大学
理事	岩岡泰夫	株式会社国際開発センター
理事	金子啓一郎	三菱電機株式会社
理事	杉原秀保	ニッセイ情報テクノロジー株式会社
理事	千葉昌幸	株式会社三菱総合研究所
理事	中村亜子	パーソルラーニング株式会社
理事	藤井新吾	モバイルコンピューティング推進コンソーシアム
理事	藤原慎	株式会社NTTデータユニバーシティ
理事	松本弘明	株式会社オプティム
理事	水井悦子	エンパワー・コンサルティング株式会社
理事	山本智子	川崎医療福祉大学
理事	除村健俊	芝浦工業大学
理事	渡辺哲也	株式会社日立アカデミー
監事	島崎理一	OPTYWORKS株式会社
監事	山中良文	JFEシステムズ株式会社
監事	渡辺善子	株式会社日本政策金融公庫、JBCCホールディングス株式会社

■最新の会員・資格者情報 (2021年2月28日現在)

会員数		資格保有者数								
		PMP®		PMI-SP®	PMI-RMP®	PgMP®	PMI-ACP®	PfMP®	PMI-PBA®	CAPM®
PMI本部	日本支部	世界全体	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住	日本在住
650,830人	4,811人	1,155,243人	39,518人	5人	12人	13人	183人	8人	14人	240人

■ 行政スポンサー (2021年3月現在)

- 三重県 桑名市
- 滋賀県 大津市

■ 法人スポンサー 一覧 (105社、順不同、2021年3月現在)

- TIS株式会社
- 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 株式会社NSD
- 株式会社インテック
- キヤノンITソリューションズ株式会社
- 日本電気株式会社
- アイアンドエルソフトウェア株式会社
- 株式会社NTTデータ
- プラネット株式会社
- 日本ユニカシステムズ株式会社
- 株式会社クレスコ
- ラーニング・ツリー・インターナショナル株式会社
- 日本ヒューレット・パッカード株式会社
- 株式会社アイ・ティ・ワン
- 株式会社タリアセンコンサルティング
- TDCソフト株式会社
- 株式会社大塚商会
- 日本プロセス株式会社
- 株式会社NTTデータ関西
- 日本ユニシス株式会社
- JBCC株式会社
- パーソルラーニング株式会社
- 日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社
- 株式会社アイテック
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・フロンティア
- 株式会社日立アカデミー
- 情報技術開発株式会社
- アイシンク株式会社
- 三菱総研DCS株式会社
- ソニーセミコンダクタソリューションズ株式会社
- 東芝テック株式会社
- 三菱スペース・ソフトウェア株式会社
- 株式会社三菱総合研究所
- NTTデータアイ株式会社
- 日鉄ソリューションズ株式会社
- 株式会社日立ソリューションズ
- 日本自動化開発株式会社
- 日揮グローバル株式会社
- 株式会社野村総合研究所
- 株式会社アイ・ティ・イノベーション
- 株式会社JSOL
- ニッセイ情報テクノロジー株式会社
- 株式会社リコー
- 株式会社システム情報
- 住友電気情報システム株式会社
- 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ・ユニバーシティ
- 株式会社マネジメントソリューションズ
- NDIソリューションズ株式会社
- 株式会社日立製作所
- 株式会社システムインテグレータ
- 日本ビジネスシステムズ株式会社
- コベルコシステム株式会社
- 日本電子計算株式会社
- 株式会社日立システムズ
- 株式会社神戸製鋼所
- クオリカ株式会社
- 株式会社エクサ
- 株式会社ラック
- 三菱電機株式会社
- TAC株式会社
- 日本情報通信株式会社
- 株式会社日立社会情報サービス
- 株式会社シグマクシス
- 株式会社TRADECREATE
- 株式会社日本ウィルテックソリューション
- システムスクエア株式会社
- 株式会社アイ・ラーニング
- 株式会社トヨタシステムズ
- 東芝インフォメーションシステムズ株式会社
- 株式会社ワコム
- NCS & A株式会社
- 日立物流ソフトウェア株式会社
- SCSK株式会社
- 株式会社東レシステムセンター
- ビジネステクノクラフツ株式会社
- SOMPOシステムズ株式会社
- 株式会社エル・ティ・エス
- 株式会社日立産業制御ソリューションズ
- MS & ADシステムズ株式会社
- 日本クイント株式会社
- リコージャパン株式会社
- 株式会社アジャイルウェア

Fact Database/データベース

- SBテクノロジー株式会社
- 株式会社インテジテクノスフィア
- 株式会社ネクストスケープ
- セブンスカイズ株式会社
- 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
- 株式会社オーシャン・コンサルティング
- 株式会社リクルートテクノロジーズ
- アクシスインターナショナル株式会社
- JFEシステムズ株式会社
- アドソル日進株式会社
- キヤノン株式会社
- ビジネスエンジニアリング株式会社
- 大日本印刷株式会社
- サイフォーマ株式会社
- 株式会社JTB情報システム
- 株式会社NTTデータ・ニューソン
- キーウェアソリューションズ株式会社
- ヤンマー情報システムサービス株式会社
- アフラック生命保険株式会社
- NECソリューションイノベータ株式会社
- 株式会社パスコ
- アベールソリューションズ株式会社
- 株式会社パデコ

■ アカデミック・スポンサー 一覧 (49教育機関、登録順、2021年3月現在)

- 産業技術大学院大学
- 慶應義塾大学 大学院システムデザイン・マネジメント研究科
- サイバー大学
- 芝浦工業大学
- 金沢工業大学
- 九州大学大学院芸術工学府デザインストラテジー専攻
- 広島修道大学経済科学部
- 北海道大学 大学院情報科学研究科
- 山口大学大学院技術経営研究科
- 筑波大学大学院システム情報工学研究科 コンピュータサイエンス専攻
- 早稲田大学 ビジネススクール
- 早稲田大学 理工学術院 基幹理工学部 情報理工学科
- 公立大学法人 広島市立大学 情報科学部
- 国立高等専門学校機構 仙台高等専門学校
- 大阪大学 大学院工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻
- 愛媛大学工学部および大学院理工学研究科工学系
- 国立高等専門学校機構 八戸工業高等専門学校
- 学校法人中部大学 経営情報学部
- 京都光華女子大学
- 鹿児島大学産学連携推進センター
- 中央大学 文学部社会情報学専攻
- 千葉工業大学 社会システム科学部 プロジェクトマネジメント学科
- 京都工芸繊維大学 ものづくり教育研究支援センター
- 東京工科大学大学院 コンピュータサイエンス専攻
- 北海道情報大学
- 山口大学工学部知能情報工学科
- 川崎医療福祉大学医療福祉マネジメント学部 医療秘書学科および大学院医療秘書学専攻
- 青山学院大学 国際マネジメント研究科
- 公立大学法人 公立はこだて未来大学
- 慶應義塾大学・理工学部・管理工学科・飯島研究室
- 就実大学 経営学部
- 神戸女子大学 家政学部 家政学科
- 明石工業高等専門学校 建築学科 大塚研究室
- サレジオ工業高等専門学校 一般教育科 物理教育学研究室
- 北陸先端科学技術大学院大学 知識マネジメント領域
- 中京大学 情報センター
- 法政大学専門職大学院イノベーション・マネジメント研究科
- 札幌学院大学
- 国立研究開発法人 理化学研究所 多細胞システム形成研究センター
- 岡山大学 教育研究プロジェクト戦略本部 戦略プログラム支援ユニット (URA)
- 香川大学大学院 地域マネジメント研究科 中村研究室
- 明治大学 経営学部 鈴木研一研究室
- 中京大学 経営学部 齊藤毅研究室
- 独立行政法人国立高等専門学校機構舞鶴工業高等専門学校
- 愛媛大学 教育・学生支援機構学生支援センター 丸山智子研究室
- 東京都市大学 都市生活学部 国際開発プロジェクト研究室
- 江戸川大学 メディアコミュニケーション学部 情報文化学科
- 地方独立行政法人神戸市民病院機構 神戸市立神戸アイセンター病院 研究センター
- 中央大学 国際情報学部

Editor's Note / 編集後記

執筆者の皆さまへ。お忙しいところ、ご協力いただきありがとうございました。

■新任理事4名のご挨拶

2020年後半から2021年にかけて新たに就任した理事4名（井奈波 誠、千葉 昌幸、杉原 秀保、藤原 慎）からの挨拶を掲載しました。

■新事務局長のご挨拶

2021年1月1日付で事務局長に就任した寺田 尚弘からの挨拶を掲載しました。PMI日本支部としては初めて、建設業界出身の事務局長の誕生です。

■ステークホルダー調査

2020年10月に約2,000人に対して実施した「PMI日本支部ステークホルダー調査」。この結果を基にIT業界・IT職種のPMニーズの深堀、ネクスト・ジェネレーション（5～35歳）の巻き込みを念頭に、日本支部副会長 斉藤学が調査結果から見える特徴を解説しました。

ニューズレター編集担当から読者の皆様へお願い

皆さまからの書評、論評、トピックス、セミナー受講レポート、プロジェクト体験記、PMP認定試験受験体験記などを募集しています。PMI日本支部事務局宛てにお送りください。

新型コロナウイルス感染症の拡大抑制のため、昨年4月7日に行われた初の緊急事態宣言は1か月半後に全国で解除。半年を経過した令和3年1月8日に1カ月の予定で行われた2度目の緊急事態宣言は再々延長を経て、3月21日に解除の日を迎えましたが、まだまだ日本中が五里霧中をさまよっています。

昨年前半によく耳にした“withコロナ”は、期待を込めて“afterコロナ”という言葉とともに流布されましたが、結局“after”は見えないまま、“New Normal”が定着した感があります。

さて、昨年4月1日からとりあえずリモートワークに移った事務局もついに一周年を迎えます。2021年初頭にはMicrosoft 365とMicrosoft Teamsを導入し、新しい働き方を始動しました。

“New Normal”時代にふさわしい「PMI日本フォーラム2021」の企画・準備も着々と進みつつあります。

今年のPMI日本支部にもご期待ください。

PMI日本支部ニューズレター Vol.86 2021年3月発行

編集・発行：PMI日本支部 事務局

〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲3-15 センタービル3階

TEL：03-5847-7301 FAX：03-3664-9833

E-mail：info@pmi-japan.org

ホームページ：https://www.pmi-japan.org/

(非売品)